

滑走路の構造

滑走路は、空港で最も大切な、中心となる施設です。
車のおよそ300倍の重さの飛行機が走っても、びくともしない、とても丈夫に作られています。

えっっ！
こんな大きな飛行機が走っても大丈夫なの？

滑走路は、土や砂利などを何層にも敷き詰め、最後にアスファルトを厚く敷いていくんだよ。

敷き詰めた深さは僕の背丈と同じくらい

85cm
?
120cm

車がおもちゃみたいにみたく見えるわー！

小型プロペラ機 (セスナなど)

800~1,000m

大型プロペラ機 (DHC-8, SAAB340など)

1,500m

中小型ジェット機 (B737, B767, B787, A320, A330, ERJ-170など)

2,000m

大型ジェット機 (B747, B777, A380など)

2,500m

滑走路を作る時は、空港に離着陸する飛行機の大きさ・性能などを十分に考えた上で、滑走路の方向や長さ、傾斜の角度などを決めます。

※国際線が就航する場合や、滑走路が雪などで滑りやすい状態にある場合は、さらに長い滑走路が必要になる場合があります。